

# ハイライトよねやま 50

(財)ロータリー米山記念奨学会  
2004年4月13日発行

## 1. 寄付金速報 ~残りあと3カ月

3月までの寄付金は、前年同期と比べ5.1%減、約6千7百万円の減少でした。普通寄付金が3.8%減、特別寄付金が5.9%減です。当月は、2620地区静岡南RCの会員(故人)の奥様より、ご逝去されたご主人をしのばれて、1千万円のご寄付をいただきました。詳細は次号に掲載いたします。今年度も残りあと3カ月となりました。普通寄付金を納入されていないクラブは、早急にご送金くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 2. 2004-05年度地区米山奨学委員長セミナー開催報告 ~2004年度に向け、キックオフ~

3月31日(水)に東京・品川のホテルパシフィック東京にて、2004-05年度の地区米山奨学委員長セミナーが開催されました。全地区の委員長が一同に会す絶好の機会、また、半数を超える20名が新任であられたこともあり、いずれの委員長も、熱心に他地区との情報交換に努めておられました。「多くの会員といかに米山の“感動”を共有するか」「その感動をいかに寄付につなげるか」など、例年以上に、米山奨学事業の根本に立ち返る活発な議論がなされて、「時間が足りなかった」との声も多く寄せられました。引き続き、地区の垣根を越えて情報交換していただけるよう、新しい委員長のメーリングリストも開設しました。ぜひご活用ください。

## 3. カウンセラー研修会実施状況【中間報告】

米山奨学会では2003年より、カウンセラー研修会(地区内奨学生数×3,500円の補助費あり)の全国実施を呼びかけています。これまでに34地区中17地区で実施されました。研修会プログラムは各地区で工夫しています。以下に実践の一例をご紹介します。

- ・指導教員や留学生センター教員による講演

「留学生の実情理解や実践的対応のヒントとして有益。また、大学側への疑問や要望をその場でぶつけることで、お互いの理解が深まった」との報告がありました。

- ・カウンセラー経験者の体験報告

- ・元奨学生からの意見発表

- ・カウンセラー同士のディスカッション

研修会を実施した地区では、カウンセラーの不安解消、経験者を含めたカウンセラー会設立への呼びかけなど、有効な結果に結びついたとの報告が寄せられています。また参加者からの要望として、「なるべく早く、できれば4月に実施してほしい」「初期研修のほかに、フォローアップ研修も必要」との声があります。各地区の事情に合わせて、年間計画への効果的な組み込みをお願いいたします。

(裏面につづく)

表彰制度を改定しました！本年度から累計十万円毎に米山功労者として表彰いたします。詳しくはホームページをご覧ください。

#### 4. 米山奨学事業の成果はいかに ～米山奨学生の博士号取得状況～

奨学生や学友から博士号取得の報告が続々と届いています。この3月に博士の学位を取得したのは今までのところ55人。7割が医学、工学、農学などの理系分野ですが、一般に取得が難しいとされる文系分野も、文学・経済学・社会学などで健闘しています。例年140人ほどが博士号を取得していますが、奨学生が米山奨学会への報告を忘れてしまうこともございます。博士の学位取得者には、米山奨学会よりお祝いの時計をお送りしていますので、世話クラブ・カウンセラーの皆様からも、ぜひご報告くださいますようお願いしております。

#### 5. スリランカの学友が旭日中綬章を受章

在スリランカの米山学友、チャンドラシリ・フェルナンドさん【1982-84年/東北大学大学院/仙台西RC】が、平成15年度秋の叙勲で、日本政府より勲三等旭日中綬章を贈られました。

フェルナンドさんは、国費留学生として来日した後、1982～84年に米山奨学金を受けて、東北大学大学院にて公法学を学び、修士号を取得。帰国後は、スリランカ警察庁に入り、現在は同庁の上級副長官を務めています。スリランカ警察に、日本の交番システムや「5S運動」を導入して、日本・スリランカ間の警察協力推進に寄与したほか、コロンボ市の治安が悪化した際には、在留邦人の保護のために情報提供や警備指導に尽力するなど、まさに母国と日本との懸け橋として活躍し、その功績が今回“叙勲”という形で評価されました。

##### チャンドラシリ・フェルナンドさんからの感謝のコメント

もし、米山奨学金の支援が無かったら、日本での勉学を続けることもできず、このような栄誉ある勲章を受けることもなかったでしょう。支援して下さった日本のロータリーの皆様に、心から感謝いたします。

#### 6. カウンセラーからの便り ～米山学友がネパール国王から表彰【2670地区】～

米山カウンセラーから嬉しいニュースが届きました。ネパールの学友、ラム・チャンドラ・ブサルさん【1999-2000年/愛媛大学大学院/北条RC】が、母国で学術功労賞を受賞し、ネパール国王からメダルを授与されました。修士2年次に米山奨学生となったブサルさんは、夫妻でクラブのイベントにも積極的に参加し、会員の皆さんとの交流を深めました。北条RCの皆さんからの厚い好意は、夫妻の3人の娘さんをネパールから日本に招待するという大きなプレゼントとなったそうです。ブサルさんは、愛媛大学で柑橘についての研究を続け、見事に農学博士号を取得して昨年帰国。ネパールでは、農林水産省の研究職に就き、その将来を囑望されています。

##### 米山カウンセラーからの喜びのコメント

カウンセラーとして、今まで4人の男子奨学生をお世話してきました。私には息子がいないので、自然と息子がいたらこんな風につき合うのかなという交流を持ちました。私の宝は、韓国、中国、マレーシア、そしてネパールに生きています。ネパールで、ブサルさんがまず大輪の花を咲かせました。彼らを誇りに思うとともに、彼らとの出会いを与えて下さった米山奨学制度に感謝しています。

北条RC会員/2670地区米山奨学委員 重見 誠吾

(財)ロータリー米山記念奨学会 編集担当：<sup>みづ</sup>峯・<sup>のぶ</sup>野津  
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc 会館ビル 8階  
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281  
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/